

令和5年度周南市こども育成支援対策審議会(第7期第2回)会議録

日 時	令和5年12月15日(金) 14時00分～15時00分
場 所	周南市本庁舎4階 庁議室
議 事	<p>議題</p> <p>第3期周南市子ども・子育て支援事業計画策定に係る子ども・子育てニーズ調査について</p>
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員10名 ※会議成立(欠席:木村委員、加村委員) 竹下会長、兼重副会長、金子委員、田中委員、秋重委員、倉益委員、河村委員、大野委員、小林委員、山本委員 ● 事務局10名 こども・福祉部こども局 穴田局長 次世代政策課:綿野課長、徳田課長補佐、高木係長、岩岡主査、橋本 こども支援課:伊上次長 ● 調査業務受託事業者:一般財団法人山口経済研究所(3名)

議題 第3期周南市子ども・子育て支援事業計画策定に係る子ども・子育てニーズ調査について

資料

第3期周南市子ども・子育て支援事業計画について(以下「資料1」という。)

第3期周南市子ども・子育て支援事業計画策定に係る子ども・子育てニーズ調査の概要(以下「資料2」という。)

ニーズ調査票(就学前児童保護者用、小学生保護者用、中学生保護者用、子育て支援団体用、企業用、児童及び生徒用)

中学生・高校生向けグループインタビュー実施案

◎会長 議題の件について、事務局から説明をお願いします。

□事務局 **次世代政策課**
資料1に基づき、計画の概要(法的根拠、市の各計画との関係、構成のイメージ、本計画と一体的に策定する計画等)について説明。
資料2に基づき、ニーズ調査の概要(調査目的、調査対象、調査方法、調査期間、今後のスケジュール)について説明。

□事務局 **山口経済研究所**
6種類のニーズ調査票(案)に基づき、設問のポイント、前回の第2期周南市子ども・子育て支援事業計画で実施したニーズ調査(以下「前回調査」という。)からの変更点等について説明。中学生・高校生向

	けグループインタビュー実施案についても説明。
○委員	未就学児が属する世帯、小学生児童が属する世帯に対するニーズ調査の対象先が各 2,000 票となっているが、前回調査と同様としているのか、周南市の世帯数から算出しているのか、根拠を教えてください。
□事務局	次世代政策課 2,000 票は前回調査と同数である。前回調査との比較も踏まえて設定した。但し、新たに調査対象に加えた中学生生徒が属する世帯、児童・生徒向けは、2,000 票とのバランス等を勘案して 1,000 票とした。
○委員	第 1 期周南市子ども・子育て支援事業計画で実施したニーズ調査（以下「前々回調査」という。）も調査対象は 2,000 票であったのか。
□事務局	次世代政策課 即答はできないが、国の示す教育・保育の量の見込みの算出方法は変わっていないため、前々回調査も 2,000 票であったと思われる。後日、確認した上で改めて回答する。
○委員	周南市の人口は 5 年前、10 年前と比べると減少しているのに、人口に占める今回の対象者数の比率は上昇しているとの認識で良いか。
□事務局	次世代政策課 人口減少に合わせて調査対象を減らす意見も出たが、できるだけ多くの方に回答してもらうため、同じ票数とした。
○委員	前回調査の回収率を教えてください。
□事務局	次世代政策課 50%程度であった。
○委員	今回調査も同程度の回収率を見込んでいるのか。
□事務局	次世代政策課 今回はウェブでも回答可能としており、6 割程度の回収率を想定している。

○委員	就学前児童保護者用の調査票5ページの間11について、「幼稚園の利用を強く希望しますか」との質問があるが、あえて幼稚園に特化して質問している理由をお聞きしたい。
□事務局	<u>山口経済研究所</u> 国の新しい指針で、幼児期の学校教育の利用希望に関する質問が求められているためである。
○委員	幼稚園利用に関する「程度」を確認するのであれば、まず、利用希望について「はい」「いいえ」の二者択一で尋ね、「はい」と回答した人に4件法・5件法（4・5段階の選択肢から選んでもらう）の回答形式で度合いを測定する方法も考えられる。
□事務局	<u>山口経済研究所</u> 国の指針では、今回提示した質問方法を必須としているわけではないが、このような質問をすることで、幼稚園の利用意向率をできるだけ正確に算出することが求められている。委員のご意見も踏まえ、質問内容を再検討する。
○委員	就学前児童保護者用の調査票は合計21ページとかなりのボリュームとなっており、回答者の負担が大きい。回収率を60%程度と想定しているとのことだが、前回よりも回収率が落ち込むことを懸念している。回収率を上げるための方策があれば、教えていただきたい。
□事務局	<u>山口経済研究所</u> 質問項目について、委員からの意見も参考としながら、量の見込みの算出など計画策定につながるものに絞り込む。今回はウェブからも回答可能となっており、回収率のアップに寄与することを期待する。その他、相談が必要かもしれないが、本調査の実施について市のHP等でPRし、調査の意義を伝えることで、回収率の上昇につなげることも考えられる。
○委員	60%という回収率は一般的に高いと思うので、前回調査の手法をベースに回収率を高めることができると良い。

○委員	<p>中学生保護者用の調査票4ページに「放課後の過ごし方」に関する質問があるが、公立中学校における部活動の地域移行に伴い、市民の方が賛同して部活動を引き継いでくれないと、帰宅部となる子どもが増える懸念がある。部活がなくなることに対する子ども達の不安を取り除くことができるような質問を追加してほしい。</p>
○委員	<p>児童及び生徒向けの調査票については、学校経由で配付するとのことだが、具体的にはどのような方法をとるのか。</p>
□事務局	<p>次世代政策課</p> <p>現段階の案として、各学校の5年2組とか、学校を特定して5年生全員を対象にするとか、ある程度固まった形で、地域的にも偏りがでないように配付することを想定している。無作為に配付すると、クラスの中で対象となった子どもと対象とならなかった子どもで、不公平感が生まれる可能性がある。</p>
○委員	<p>ウェブでの回答について、質問数が多いため、1度にすべて回答することは難しいと考えられる。回答の途中で保存できる機能を付け、数回に分けて回答できるようにすべきである。</p> <p>また、先ほど部活動の地域移行に関するご意見があったが、部活動がなくなると、子ども達が放課後に何もすることがなくなる可能性がある。地域のクラブに入るにしても、金銭的な負担が心配な上、親が送り迎えをできないケースも多いと思われる。特に人口の少ない地域では、帰宅部しか選択肢がなくなることが懸念される。審議会の本題とは少し離れるかもしれないが、そうした点も考慮して計画策定を進めてほしい。</p>
○委員	<p>調査票の発送時期が12月で、回答期限が1月末との記載があるが、前回調査も同時期に実施したのか。保護者は一番忙しい時期で書類も多く届くので、調査票が埋もれてしまうことを懸念している。</p>
□事務局	<p>次世代政策課</p> <p>前回調査は1月から2月にかけて実施した。今回の調査票の発送は1月にずれ込む可能性が高いので、ほぼ同時期となる。</p>
○委員	<p>回収率も同程度を見込んでいるのか。</p>

□事務局	<p><u>次世代政策課</u></p> <p>今回はウェブでも回答可能となっているので、回収率が上がることを期待している。</p>
○委員	<p>グループインタビューの対象となる中学生、高校生については、予定している3回とも、同じ学校のグループを固定するのか、それともランダムに選ぶのか。</p>
□事務局	<p><u>次世代政策課</u></p> <p>現在、協議中だが、2月までには決めて、学校に依頼する予定である。</p>
◎会長	<p>ニーズ調査について、12月22日（金）までに委員の皆様からご意見を頂戴するが、その際、グループインタビューの実施手法についても、合わせてご意見をいただきたい。事務局は、委員からのご意見を踏まえ、調査票やグループインタビューの実施案の修正をお願いしたい。</p>
◎会長	<p>その他、ご意見、ご質問がなければ、今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。</p>
□事務局	<p><u>次世代政策課</u></p> <p>12月22日までに、ニーズ調査及びグループインタビュー実施について、ご意見を事務局にご連絡いただきたい。1月にニーズ調査、2月にグループインタビューを実施し、その後、3月に開催予定の審議会でニーズ調査結果を報告する。審議会の開催候補日は、3月18日（月）、19日（火）、21日（木）で、後日、皆様に日程調整をお願いします。なお、令和6年度は、計画案を作成後、パブリックコメントを実施して正式に計画を策定するという流れとなり、5回程度、審議会を開催する予定である。</p>
◎会長	<p>ご意見がある場合、12月22日までに事務局へご連絡をお願いしたい。積極的なご意見をよろしくをお願いしたい。今後、委員の皆様からのご意見を踏まえ、ニーズ調査の質問内容やグループインタビューの実施手法を修正するが、修正点については再度審議会を開催せず、会長に一任いただきたいがよろしいか。</p>
○委員一同	<p>異議なし。</p>

<p>◎会長</p>	<p>それでは、事務局と協議しながら、ニーズ調査の修正等を円滑に進めていきたいと考えているので、よろしく願いしたい。 他にご意見、ご質問があれば願います。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>ご意見、ご質問がないようなので、審議を終了する。</p>
<p>□事務局</p>	<p><u>次世代政策課</u></p> <p>熱心なご審議で貴重なご意見をいただいた。引き続きご協力をよろしく願いしたい。</p>